

大木隆生 (編)

胸部大動脈瘤 ステントグラフト内挿術の実際

古森公浩

(名大大学院教授・血管外科)

大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術が日本でも盛んに行われるようになった。腹部大動脈瘤の市販のステントは 2006 年に認可され、現在 3 種類が使用されている。これまでに約 4,000 例が施行されており、腹部大動脈治療の約 30~40% を占めている。胸部大動脈瘤の市販のステントは 2007 年に認可され、現在 2 種類が使用可能である。これまでに約 1,000 例が施行されている。

日本では日本血管外科学会を含む関連 11 学会により構成された「ステントグラフト実施基準管理委

員会」により施設基準、実施医基準および指導医基準が定められ、書類審査の上認定される。2009 年 9 月現在腹部の 3 種類のステント指導医の合計は延べ約 300 人に対し、胸部の指導医は約 30 人とまだ少なく、実施施設も多くないのが現状である。そのような状況にあつて、胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術 (thoracic endovascular aneurysmal repair : TEVAR) の手技を解説した、非常にわかりやすいテキストブックが東京慈恵会医科大学グループにより、このたび発刊された。

本テキストは著者らのこれまでの豊富な経験を基に、TEVAR の基本的な適応、留置手技から TEVAR の実際として、応用編ならびにトラブルシューティング、さらには個々の症例を提示してそれぞれの治療手技やポイントが述べられている。今から TEVAR を始めようとする初心者から、これから少し応用編に取り組みようとする医師、また、ある程度の経験を持つ医師にとっても非常に有意義な、わが国初の TEVAR における系統的なテキストである。実際の術中写真やイラストが多数掲載されており、このテキスト 1 つで TEVAR のすべてが理解できるといっても過言ではなく、明日からの治療にすぐに役立つ基本から応用編まで網羅されたテキストである。

●B5/頁 168/2009 年/定価 12,600 円 (本体 12,000 円+税 5%)
[ISBN978-4-260-00940-9]
医学書院 刊